



~ 次世代自動車普及促進に向けて ~



鳥取県 環境立県推進課 課長 広田一恭 平成26年10月11日



とっとりグリーンウェイブ

昨年度は、自然や緑をキーワードとしたイベントや大会が、全県下で開催されました。鳥取県の豊かな自然を「人と自然が共生できる場」として県内外へ広く発信していきます!







三徳山三佛寺投入堂

とっとり次世代エネルギーパーク



「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」

とっとり自然環境館

EV·PHVタウン構想(H22.12月選定)



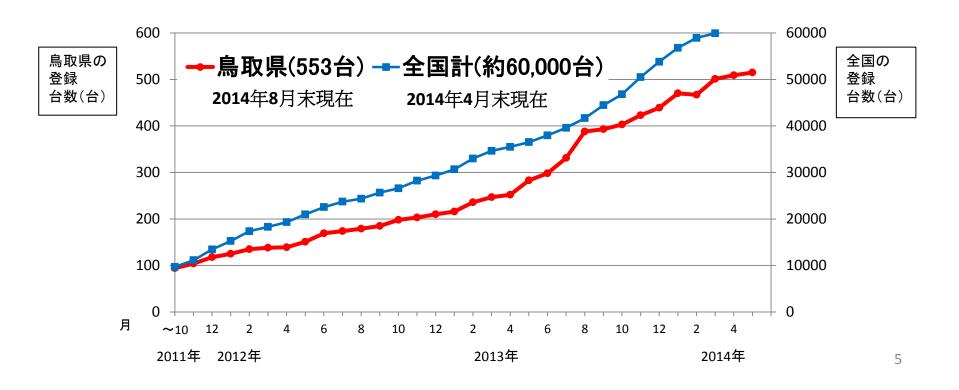


次世代自動車の普及状況とインフラ整備の現状

- ○全国のEV・PHVの普及台数は、計画を上回るペースで順調に伸びている。
 - [EV-PHVタウン構想2013年目標値:約32,000台 ⇒ 約60,000台 (2014年4月末現在)]
- 〇鳥取県も553台と順調に伸びており、

 人口比では全国上位の水準。
 - [計553台(EV:339台、PHV:214台)(2014年8月末現在)]※EVは、人口比で13位。(1位は和歌山県)(2014年4月末現在)
- 〇鳥取県に配備されている充電器は計110基。急速充電器は<u>人口比で全国トップ(2012年度末現在</u>)
 - 〔充電インフラ整備ビジョン2020年目標値:527基 ⇒ 110基 (2014年9月末現在) 〕 ※急速充電:39基

電気自動車の登録台数の推移(累計・推計値)



急速充電器設置状況(H26年9月末時点)



普通電器設置状況(H26年9月末時点)



鳥取県庁公用車EVカーシェアリング



EVレンタカービジネス(次世代SS事業)





鳥取市長に第一号の会員カードを渡す



大山町オンデマンド交通



EVカーシェアリング実証プロジェクト





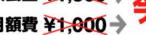
(アイミーブ)



15分	3時間バック	6時間バック	12時間バック	24時間バック
200円	2,000円	3,000円	3,500円	4,300円

安心の免責0保険付

カーシェアリング会員募集中!













県内初となるカーシェアリングサービスがスタート(H25.5.15)

15分間200円、太陽エネで充電



借りるには、会員登録が必要。

トフォンでインタ

スマートフォンで予約すれば、 内では初めての試み。電気自動車(EV)を使用し、携帯電話や リング」が、鳥取市若葉台北6丁目で15日から始まっている。県 車を共同で使い、必要な時だけ時間単位で借りる「カーシェア 24時間いつでも借りられる。

若葉合北6丁目 頭石油の米井哲郎社長=15日、鳥取市 カーシェアリングについて説明する智

めている。 油(智頭町)。カーシェアリング用やレンタカー事業を展開する智頭石 陽光エネルギーだ。 で発電した電力を共有の蓄電池にた のEVを置いた地区では、 や住宅などに設置した太陽光パネル 手がけるのは、ガソリンスタンド EVは、 その蓄電池から 植物工場

「智頭石油」県内初

携帯予約いつでも、今年度30台へ

知事は「ヨーロッパを中心に拡大 い」とあいさつした。 ソリンを売るだけではなく、 は、石油から電気や水素といった新の米井哲郎社長は「将来の車社会 る。お買い物など身の回り 暮らしを求めることの延長線上にあ てきたカーシェアリングは、 しいエネルギーに変わってくる。 テープカットに参加した平井伸治 エコな 将来に

たいとしている。 アリングに使う車を計30台に増やし 石油は、今年度中に県内でカーシェ れる。入会金1500円は、1千円だが、すべて利用料に 助している。 万円で、うち600万円を県が補 ブ」。事業費は3年間で約900 くは無料にするという。 00円のプランもある。 会費は月に 車種は、三菱自動車の「アイミー 15日にあった開始式で、 すべて利用料に充てら いまは1合だが、 6時間3千 智頭石油 しばら

H25.5.17 朝日新聞



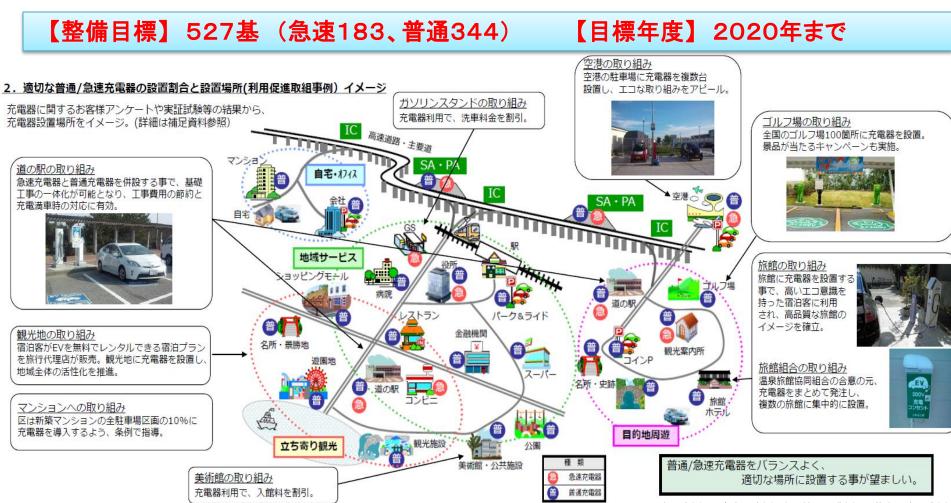






鳥取県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン

<u>エコツーリズムやグリーンツーリズムなど環境に配慮した観光客の受入体制の整備</u>に併せて、<u>eーモビリティ等の普及促進</u>を図り、<u>電欠の不安を感じないインフラ整備</u>を目指す。



出所;トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、本田技研工業㈱、三菱自動車工業㈱

国は、電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド(PHV)の普及促進のため、各都道府県が策定するビジョンに基づいた整備計画に対して支援する「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」を平成24年度補正予算で創設

充電インフラ整備への基本方針

- ①公共・商業・観光施設への設置エリアを設定し、目的地充電の箇所数を特定。
- ②過疎地では人口密度等を考慮し、旧市町村単位で最低限必要な箇所数を設定。
- ③さらに、電欠防止のため、経産省がEV走行シミュレーションを実施し分析した「電欠発生率の最小化モデル」と交通量により、路線ごとに経路充電の箇所数を特定。

公共・商業・観光施設への配備(集客力のあるエリアを設定)

- ①県民ニーズ調査と事業所ニーズ調査により、優先する公共施設や商業施設など箇所を特定。
- ②観光客の入込客数に応じて、重要な観光施設を特定。

目的地充電 (228箇所)

緊急充電 (94筒所)

県外から市街地への交通アクセスにおける電欠防止

- ①県外・市街地からの交通アクセスにおいて、緊急充電として中山間地域に配備(旧市町村単位で算出) 【箇所数=0.0006×ST評価指数+0.822】
 - ※ST評価指数=(面積[km2])0.68乗×(人口[人])0.2乗×(事業所数)0.19乗

主要道路への配備(目的地充電エリアへのアクセスを視野)

①主に目的地充電エリアへのアクセスにおいて、電欠防止のため、国道・主要地方道路など道路規格ごとの交通量を勘案し、設置間隔を設定。(路線単位で算出)

※経産省モデルプランを活用 【設置間隔=-0.00064×(交通量[台/日])+38.8】

次世代自動車の普及・推進のための先進地区への配備

- ①EV関連·充電器関連ビジネスなど先進的サービスモデルを創造する事業者へパイロット事業として配備
- ②EV関連産業(EVベンチャー企業、EVバイク生産事業者など)に関連する事業者が設置する充電ステーションを先進的事例として配備

経路充電 (105箇所)

パイロット事業 (100箇所)

【ビジョンの目標年度】 2020年まで【整備目標】 527箇所 (急速183、普通344)

主要観光施設へEV充電ステーションを整備



鳥取空港が「エコ空港」へ



県施設等へ充電ステーションを寄付!!



EVエコドライブーツアー開催(鳥取一岡山一関西)

【目的】

- ①鳥取・岡山のモデルルートのみならず、関西圏域からの両県へのアクセスにおいて、 <u>電欠なく安心して、ドライブできるEV走行環境</u>であることをアピールすることで、環境負荷 の少ない<u>次世代型のエコツーリズムの推進</u>を図る。
- ②また、EV車両の特性や性能を実証し、コストパフォーマンス等をPRすることで、EV等の車両購入を促進する。



鳥取岡山EVエコドライブ実施スキーム 【鳥取一岡山間のドライブ観光を促進】

<u>鳥取・岡山EV・PHV普及連携プロジェクト実行委員会</u>を設立 (H26. 5)

「中国横断EVエコドライブ・グランプリ」開催決定! 鳥取岡山間の充電インフラ環境をPR!

- 〇マイカーコースとチャレンジコースの計20組が参加。
- 〇充電ポイントと観光施設等のチェックポイントを巡る。
- ○電費競争とチェックポイントの立寄数で争う。

②チャレンジコース

(1)マイカーコース

EVに興味のある方 がレンタカーで参加

EVユーザーの参加者

- ①参加者全員に特産品をプレゼントし、上位入賞者には宿泊券を贈呈。
- ②ドライブコースと充電ステーションでの充電、観光施設でのサービスなどを ドキュメント風にして、EVエコドライブマップを作成



JKB(女子カート部)EVモニターツアー開催イメージ 【関西からの誘客促進】

OJKBにリーフとアイミーブで関西から鳥取へ急速充電の旅を行う。

〇充電中に観光施設で食事等を楽しんでいる風景を撮影し、ドライブマップと動画を作成



自動車学校を活用した広告

●日本カーライフアシスト株式会社が展開している「JACLA TV」は、全国の自動車学校のうち、300校に設置。(県内は9校中2校)

※免許の取得比率は免許取得可能年齢層の約90%であり、年間160万人が新たに免許を取得している。そのうちの44%にあたる70万人がJACLAネットワークの対象者であり、自動車学校の数では23%の占有率となる。

- ●「JACLA TV」は、各自動車学校に配信専用テレビを設置し、毎日9時から19時までオリジナル番組を放送。
- ●番組の間にインフォマーシャルとコマーシャルを放送しており、この枠を活用する。







【メイン画面】

オリジナル番組、インフォマーシャル、コマーシャルを放送

【サブ画面】

メイン画面に付帯する静止 画を表示